

チベット巡礼探検家
能海寛の顕彰活動全記録



能海寛研究会

島根県浜田市金城町波佐

チベット巡礼探検家 能海寛の顕彰活動全記録

もくじ

能海寛顕彰運動(明治・大将・昭和・平成)の足跡	1
能海寛の経歴	1
顕彰運動のはじまり	1
「能海寛研究会」発足以降の記録	3
平成 7 年 研究会発会式	3
第1回研修旅行「西堀栄三郎・探検の殿堂」	3
平成 8 年 金城町・金城町議会へ「能海寛記念館」建設の陳情書	3
能海寛新資料発見	4
平成 9 年 新資料初公開	4
平成10年 チベット壮途100年記念	5
平成11年 第5回年次大会開催	6
能海寛の像(彫塑)完成除幕	6
平成12年 能海寛研究会2000年日中合同世界会議開催	7
平成13年 『世界に於ける佛教徒』をテーマに定例学習会	7
平成14年 ジュニア版親子学習会開催	9
平成15年 能海寛研究会定例学習会50回記念	9
能海寛のふるさと・100Km ウルトラマラソン開催	10
平成16年 第10回年次大会開催	10
平成17年 『能海寛著作集』出版事業開始	11
平成18年 能海寛のふるさと・歌碑めぐりウォーク開催	12
平成19年 能海寛研究会「東京大会」開催	12
平成20年 「能海寛歴史資料」357点が浜田市指定文化財	13
平成21年 第15回年次大会開催	14
平成22年 『能海寛著作集』全15巻・17冊、別巻1冊、完結	15
平成23年 能海寛研究会定例学習会100回記念	16
平成24年 「南方熊楠顕彰館」で移動学習会開催	17
平成25年 第1回チベットセミナー開催	17
「中村元記念館」で移動定例学習会開催	18
平成26年 第2回チベットセミナー/第20回年次大会開催	19
平成27年 第3回チベットセミナー/第21回年次大会開催	20
『能海寛著作集』全15巻・別巻1	21
あとがき	22

能海寛顕彰運動（明治・大正・昭和・平成）の足跡

① 能海寛の略歴

- 明治 1年 5月18日 島根県浜田市金城町長田 浄蓮寺に生まれる
- 明治10年 6月12日 広島小教校(進徳教校)に入学する。
- 明治12年10月28日 京都東本願寺にて得度する。
- 明治19年 3月 日 京都普通教校へ入学する。
- 明治20年 3月 3日 普通教校本科初年級へ編入する。
- 明治21年10月14日 E.C.S(英文会)を立ち上げ『NEW BUDHIST』を発刊する。
- 明治22年 1月28日 大学林文学寮本科2年甲生へ編入する。
- 明治23年 2月 3日 慶応義塾へ入学する。
- 明治24年 1月15日 哲学館へ転入学する。
- 明治26年 7月 7日 哲学館高等科上級を修了する。
- 明治26年11月18日 『世界に於ける佛教徒』を自費出版する。
- 明治31年11月12日 神戸港を出航、中国上海へ、チベット巡礼探検に向かう。
- 明治33年 1月11日 「般若心経」、2月18日「金剛経」など5巻を4か国語に翻訳する。
- 明治34年 4月18日 南條文雄博士あて最後の音信の日付を寛の命日としている。
- 明治36年 5月16日 哲学館より「講師」の称号が寛の生前の業績に対して贈られる。
(哲学館卒業後10年経過し、卓越した業績を残した者へ贈呈される)
- 大正 6年 4月30日 寛の17回忌の法要が浄蓮寺で執り行われる。この法要を記念して能海寛追憶会(私立真宗大谷大学内)では、寺本婉雅氏が編纂責任者となり『能海寛遺稿』を出版。
- 昭和17年11月 4日 付け本山より西蔵入蔵で殉職した寛に対し『大僧都』が伝達される。
- 昭和17年12月 5日 能海寛の40回忌法要が勸修される。



② 顕彰活動のはじまり

- 昭和49年11月 3日 波佐文化協会主催の波佐地区文化祭で「能海寛遺品展」を開催する。これ以降、能海寛の資料調査に着手する。
- 昭和51年11月 28日 波佐文化協会の発起で『郷土の傑人(能海寛・島村抱月)顕彰板』が地区民の浄財で建立される。
- 昭和53年11月 3日 金城町歴史民俗資料館のオープンに伴い能海寛遺品資料の寄託を浄蓮寺より受け「能海寛資料」として展示。
- 昭和55年 9月24日 NHK松江放送局製作『島根人物伝・能海寛』(15分番組)が放映される。
- 昭和56年11月 3日 波佐文化協会主催で『ラマの都チベット写真展』及び『世界の屋根ラマの都を訪ねて』講師・NHKプロデューサー・上野克二氏による講演会を開催。
- 昭和56年12月 1日 能海寛顕彰会(会長・小森信一氏)が結成さる。
- 昭和57年 6月 6日 町内外から多数の協力を得て『能海寛師顕彰碑』が建立除幕される。
竣工記念「大花田植え」を開催する。

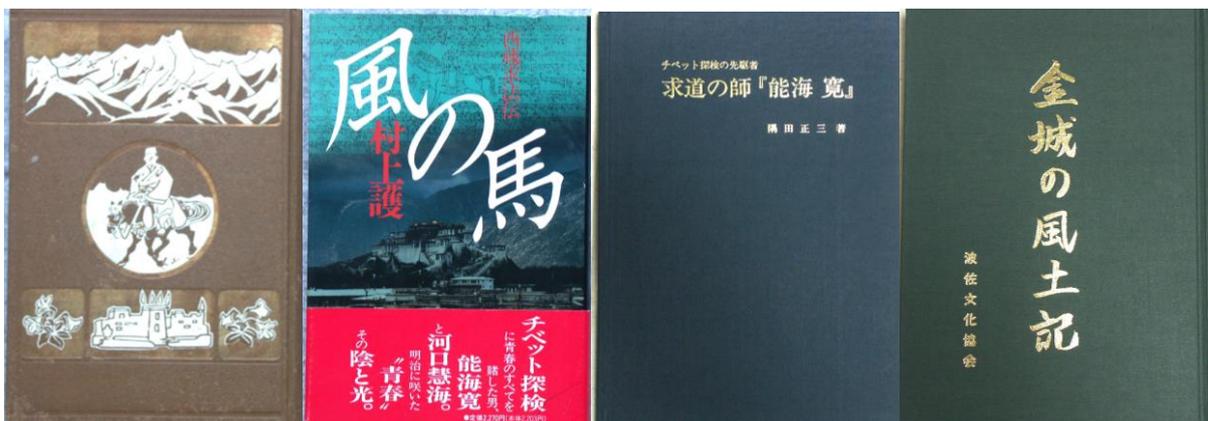


明治40年頃の浄蓮寺



能海寛顕彰碑完成記念(S57.6)

- 昭和57年 7月 1日 フォトしまね第85号・郷土史夜話「チベット探検家・能海寛」隅田正三著を掲載。
- 昭和58年 2月23日 NHK松江放送局製作『知られざる先駆者＝チベット探検家・能海寛』(30分番組)が放映される。
- 昭和60年～63年 波佐文化協会発行の季刊『なわて』(第7号～第15号)で、「求道の師・能海寛」を連載し波佐地区全戸へ配布される。
- 昭和61年 8月31日 能海寛新資料が大量に発見(チベット語・梵語・中国語の研究ノート、上京中のハガキ・手紙・中国大陸旅行中のメモを書いた手帳、寛の学んだと書類、寛の愛用していた机など約800点)。全点数歴史民俗資料館へ寄託展示されている。
- 昭和62年 3月20日 能海寛資料刊行会から『チベット探検の先駆者・能海寛』の絵葉書カラー版(8枚1組)が発行される。
- 昭和62年 3月27日 能海寛の足跡を訪ねるドキュメンタリー番組『中国大秘境』がフジテレビ系列で全国放映される。(日中国交回復15周年を記念して中国西南部の四川、雲南、貴州の三省が紹介される。)
- 昭和62年 6月25日 東京大学出版会刊『チベット』上巻・山口瑞鳳著が出版される。
- 昭和62年 8月22日 波佐文化協会主催リーダー養成講座『波佐寺小屋セミナー』第9回講座で『能海寛と東洋哲学』と題し山口瑞鳳(当時名古屋大学教授)先生より講演を拝聴。この時に能海寛請来チベット文献の解説整理を戴く。
- 昭和63年 3月31日 東京大学出版会刊『チベット』下巻・山口瑞鳳著が出版される。
- 昭和63年 5月 1日 西中国山地民具守る会による『能海寛生誕120年特別展』を金城町歴史民俗資料館で開催(8月31日まで)。
- 昭和63年11月1日 農民画家・池田一憲画「能海寛像」「能海寛師顕彰碑と大佐山」等3点の油絵、「馬に乗った寛師」等2点のカットを金城町歴史民俗資料館へ寄贈。
- 昭和63年11月 1日 西中国山地民具を守る会による「能海寛生誕120年記念第二次特別展」を開催(12月28日まで)。
- 平成 元年 4月15日 佼正出版刊・「西蔵求法伝『風の馬』」村上護著が出版される。
- 平成 元年12月15日 波佐文化協会刊『チベット探検の先駆者・能海寛』隅田正三著を出版。
- 平成 3年 3月30日 島根県広報協会刊・しまねPR読本『コンパス』「人物・能海寛」を掲載。
- 平成 5年 3月 1日 山と溪谷社刊『西蔵漂泊』上巻・江本嘉伸著が出版される。
- 平成 5年10月 2日 堺市博物館主催「特別展・河口慧海＝仏教の原点を求めた人＝」において能海寛資料も併せて公開。
- 平成 6年 4月20日 山と溪谷社刊『西蔵漂泊』下巻・江本嘉伸著が出版される。
- 平成 6年11月 3日 波佐文化協会が能海寛研究会全国組織を全国へ呼びかける。



能海寛遺稿

風の馬

求道の師「能海寛」

金城の風土記

③ 「能海寛研究会」発足以降の記録

- 平成 7年 1月22日 「能海寛研究会」発会式(金城町波佐・ときわ会館)。島根県立国際短期大学及び能海寛に関わる全国の研究者の支援により52名参加で発足。
- 平成 7年 3月12日 能海寛研究会第1回定例学習会がスタートする。
「能海寛の足跡をたどって①」=幼年期～青年期の歩み＝
M元年～M31年(国内編)隅田正三事務局長
- 平成 7年 5月13日 能海寛研究会第2回定例学習会
「能海寛の足跡をたどって②」=探検家としての歩み＝
M31年～M34年(海外編)隅田正三事務局長並びに能海寛資料・顕彰碑の見学。
- 平成 7年 7月15日 能海寛研究会機関誌『石峰』創刊号を発行。
- 平成 7年 7月16日 第2回能海寛研究会年次大会&第3回定例学習会
記念講演『能海寛～チベットを目指した最初の日本人』
～日本・チベット交流史におけるその役割～
講師・江本嘉伸氏(『西藏漂泊』の著者)
会員研究発表『能海寛の寧夏地区シルクロードの記録』岡崎秀紀氏。
- 平成 7年 8月 5日 「石峰通信」NO.2を発行する。
- 平成 7年 9月 8日 能海寛研究会第4回定例学習会。研修旅行実施。滋賀県湖東町「西堀栄三郎・
～9日 探検の殿堂」(能海寛の肖像画と映像サービス)を見学。
- 平成 7年10月 8日 NHK松江放送局制作「島根ふるさと人物伝『能海寛』」30分番組放映。
- 平成 7年11月 1日 「石峰通信」NO.3を発行する。
- 平成 7年11月11日 能海寛研究会第5回定例学習会
「能海寛の辿ったシルクロード」横田禎昭会長
- 平成 8年 1月13日 能海寛研究会第6回定例学習会
「仏典の言語」稲見正浩副会長
- 平成 8年 2月20日 能海寛研究会機関誌『石峰』第2号を発行。
- 平成 8年 3月 4日 金城町・金城町議会へ『能海寛記念館』建設に対する陳情書を提出。
6月定例議会において採択(趣旨採択)される。陳情書は能海寛研究会、
西中国山地民具を守る会、波佐文化協会の三者で提出。町議会佐々木議長名で陳
情書審査結果について採択通知(6月28日付)をいただく。
- 平成 8年 3月 9日 能海寛研究会第7回定例学習会
「能海寛の死をめぐる疑問点」～建築家・伊藤忠太と井戸川少佐～
仲市寛氏(研究会会員)
- 平成 8年 5月11日 能海寛研究会第8回定例学習会



大谷大学図書館・能海請来品



学習会で顕彰碑見学



能海寛研究会の発会式

「能海寛のたどった川蔵公路」～四川省での足どり～

桑原良敏氏（広島女学院大学教授）

平成 8年 7月14日 能海寛研究会機関誌『石峰』第3号を発行。

第3回能海寛研究会年次大会&第9回定例学習会

記念講演『風の馬』～西蔵求法伝～＝石見の能海寛と堺の河口慧海＝

講師・村上護氏（『風の馬』の著者）

会員研究発表『能海寛と日本アルプスの父W. ウェストンとの出会い』

～1890年(明治23年)の慶応義塾を舞台にして～発表者・岡崎秀紀氏。

会員研究発表『能海寛の宗教観』発表者・品川知彦氏。

平成 8年 9月 8日 能海寛研究会第10回定例学習会

研修旅行・鷗外記念館(津和野町)、秦記念館(美都町)ほか。

平成 8年11月 9日 能海寛研究会第11回定例学習会

「能海寛の青年期について」隅田正三事務局長。

平成 8年11月10日 能海寛新資料発見(浄蓮寺本堂書庫から)2,000点余り。

第二次探検、第三次探検旅行中の記録(スケッチ、日記、論文)。

平成 8年11月30日 能海寛新資料発表記者会見(ときわ会館にて)

NHKほか新聞7社取材掲載される。東京から江本嘉伸氏、中村保氏同席。

平成 9年 1月11日 能海寛研究会第12回定例学習会

「能海寛新資料の初公開」(ときわ会館)

平成 9年 3月 8日 能海寛研究会第13回定例学習会

①「能海寛と慶応義塾」岡崎秀紀氏。

②「甘肅論に見る能海寛の中央アジア大旅行の意義」隅田正三事務局長。

平成 9年 5月10日 能海寛研究会第14回定例学習会

「『渡清日記』に見る旅立ちの記録」～チベットへの旅立ち(故郷～上海)～

隅田正三事務局長。

平成 9年 7月20日 能海寛研究会機関誌『石峰』第4号を発行。

平成 9年 7月20日 第4回能海寛研究会年次大会&第15回定例学習会

記念講演「『ヒマラヤの東』の山と谷～能海寛が消えた横断山脈～

講師・中村保氏（『ヒマラヤの東』の著者・登山家）

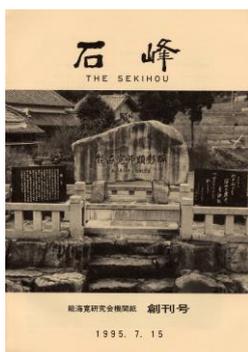
平成 9年 9月13日 能海寛研究会第16回定例学習会

「『官話記』などに見る能海寛の行動記録」隅田正三事務局長。

平成 9年10月31日 今福小学校道徳学習で『能海寛のチベット探検』を松尾隆教諭が実施。

研究会では、全面支援する。

平成 9年11月 8日 能海寛研究会第17回定例学習会



「『飛越関碑記』に見る能海寛の行動記録」桑原良敏氏(研究会会員)。

平成10年 1月10日 能海寛研究会第18回定例学習会

「『能海寛資料の保存と活用について』～環境デザインからの提言～」
花輪恒氏(広島市)

平成10年 2月20日 能海寛研究会機関誌『石峰』第5号を発行。

平成10年 2月28日 「石峰通信」NO.7を発行する。

平成10年 3月 7日 「能海寛チベット壮途100年記念」&能海寛研究会第19回定例学習会
演題「『日本人の旅と冒険』～21世紀に向けて～」
講師・江本嘉伸氏(本会顧問)。

平成10年 5月 9日 能海寛研究会第20回定例学習会

①「哲学館をめぐる能海寛と河口慧海」飯塚勝重氏(東京都)

平成10年 6月20日 「石峰通信」NO.8を発行する。

平成10年 7月12日 第4回能海寛研究会年次大会&第21回定例学習会

会員研究発表『慶応義塾時代の能海寛』～能海寛の入社帳と勤情表～
岡崎秀紀氏(松江市)

能海寛チベット壮途100年記念『旅と冒険フォーラム』

第一部【特別対談】60年前のチベット体験

野元甚蔵さん(チベット探検家)&江本嘉伸さん(作家)

第二部【パネルディスカッション】

『旅と冒険』～人はなぜ旅に出るのか～

① なぜ、リヤカーをひいてアフリカ大陸を歩いたか」永瀬忠志氏

② 島旅にどうしてとりつかれてしまったのか」河田真智子氏

③ 能海寛の足跡をたどる旅」中村保氏

コーディネイター:江本嘉伸氏

平成10年 7月28日 「石峰通信」NO.9を発行する。

平成10年 8月 1日 NHK教育テレビ(ETV)『心の時代』再放送「求法の旅人～能海寛の生涯～」
(出演:飯塚勝重・隅田正三 ききて:白鳥元雄)

平成10年 9月12日 能海寛研究会第22回定例学習会

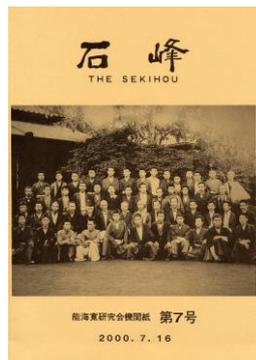
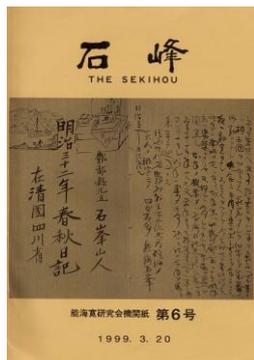
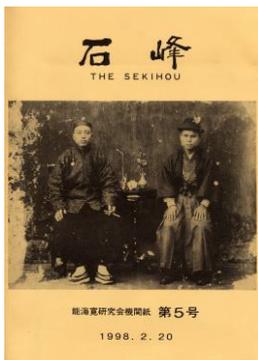
「『口代』に見る能海寛の探検決意について」隅田正三事務局長。

平成10年 10月 17日 チベット行100年記念『河口慧海・能海寛』

～二人の先駆者の生涯と今日的意義～ 講演と討論の会へ参加

主催:東洋大学アジア・アフリカ文化研究所、会場:東洋大学。

基調講演:高山龍三、隅田正三。パネラー:岡崎秀紀。



能海寛研究会機関誌『石峰』第5号～第8号

- 平成10年11月14日 能海寛研究会第23回定例学習会
- ① 『進蔵朝佛記』に見る能海寛の足跡(西安～六盤山)』
岡崎秀紀副会長。
 - ② 能海寛の寧夏回族自治区での能海寛の評価』
姚詩氏(中国・銀川市)、(通訳)貴志春子氏
- 平成11年 1月 9日 能海寛研究会第24回定例学習会
「『能海寛の歩いた寧夏回族自治区』～六盤山周辺の踏査報告～」
横田禎昭会長。
- 平成11年 3月13日 能海寛研究会第25回定例学習会
- ① 「中外日報等に見る『能海寛関連記事』について」岡崎秀紀副会長。
 - ② 能海寛によって島根県にもたらされた最初の『モンゴル文字』
万代剛氏(浜田市)。
- 平成11年 3月20日 能海寛研究会機関誌『石峰』第6号を発行。
- 平成11年 5月 6日 「石峰通信」NO.10 を発行する。
- 平成11年 5月15日 『能海寛の立像(彫塑)完成除幕式』金城町歴史民俗資料館にて
- 平成11年 5月15日 能海寛研究会第26回定例学習会
- ① 『西藏求道僧能海寛の西安から蘭州への旅』横田禎昭会長。
 - ② 「スコットベリーの能海寛論」岡崎秀紀副会長
- 平成11年 7月18日 第5回能海寛研究会年次大会&第27回定例学習会
【特別講演】『還日本海交流で未来を拓く』澄田信義島根県知事。
【記念講演】『能海寛と明治仏教理念と現実』白須浄真氏(広島市)。
【会員研究発表】
- ① 河口慧海のアジア観」高山龍三氏(奈良市)
 - ② 哲学館を巡る河口慧海と能海寛」飯塚勝重氏(東京都)
 - ③ 能海寛巡る時代背景と人物群」盛田武士氏
 - ④ 雲南省・阿敦子の山中で惨殺された『能海寛の最後』岡崎秀紀氏。
- 平成11年 7月18日 『能海寛チベットに消えた旅人(評伝)』出版祝賀会
(きんたの里・澄田島根県知事など54名出席)。
- 平成11年 9月 1日 「石峰通信」NO.11 を発行する。
- 平成11年 9月11日 能海寛研究会第28回定例学習会
「能海寛の辿った滇蔵公路～川蔵公路」永井剛氏(広島市)。
「高島」探訪の報告も併せて実施。
- 平成11年11月20日 能海寛研究会第29回定例学習会
「『井上円了の教育理念』～能海寛を育てた人～」
講師：三浦節夫氏(東洋大学助教授)。



第5回年次大会の様

- 平成12年 1月 8日 能海寛研究会第30回定例学習会
「能海寛の歩いた寧夏回族自治区」
映画鑑賞「チベットの7年」視聴する。
- 平成12年 3月11日 能海寛研究会第31回定例学習会
「能海寛と知的国際交流」島田雅治氏(島根県立国際短期大学長)。
- 平成12年 5月 1日 「石峰通信」NO.13を発行する。
- 平成12年 5月13日 能海寛研究会第32回定例学習会
「能海寛の辿った陝甘大道(西蘭公路)」
岡崎秀紀副会長・隅田正三事務局長。
- 平成12年 7月 5日 「石峰通信」NO.14を発行する。
- 平成12年 7月16日 能海寛研究会機関誌『石峰』第7号を発行。
- 平成12年 7月16日 第6回能海寛研究会年次大会&第33回定例学習会
【記念講演】「還日本海交流で未来を拓く」
内藤正中氏(島根大学名誉教授)。
【会員研究発表】
- ① 「高島における能海寛の活動」志波健二氏(浜田市)。
 - ② 「文献に見る能海寛」岡崎秀紀副会長。
 - ③ 「入蔵熱の時代」奥山直司氏(高野山大学助教授)。
 - ④ 『能海寛のたどった西藏公路』～西安から蘭州～横田禎昭会長。
- 平成12年 8月19日 能海寛研究会第34回定例学習会(海外研修・中国寧夏回族自治区銀川市)『能海寛研究会2000年日中合同世界会議』(中国・銀川市外事弁公室) ～能海寛に学ぶこれからの知的国際交流～
【講演】『能海寛の歩いた西安から蘭州の旅』横田禎昭会長
『能海寛の精神に学ぶ』姚詩氏(中国・銀川市)
【特別講演】陳育寧氏(銀川市委書記)、李範文(寧夏社科院研究員)。
- 平成12年 9月 9日 能海寛研究会第35回定例学習会
「『能海寛の旅に学ぶ』～中国・西安・寧夏回族自治区銀川市の旅～」
岡崎秀紀副会長。
- 平成12年11月11日 能海寛研究会第36回定例学習会(移動学習会)
「能海寛のたどった古道を訪ねる旅」
ときわ会館～浄蓮寺～県境～妙蓮寺～松原～加計町(船着場)～専光寺
- 平成13年 1月13日 能海寛研究会第37回定例学習会
「能海寛の文献紹介」岡崎秀紀副会長。
- 平成13年 3月10日 能海寛研究会第38回定例学習会
「世界に於ける仏教徒」に学ぶ①～「能海学」を構築する原点の学習シリーズ～



「旅と冒険」フォーラム



新資料発見公開



中国・銀川市にて

「世界に於ける仏教徒」に学ぶ②

～「能海学」を構築する原点の学習シリーズ～

平成13年 6月25日 「石峰通信」NO.15 を発行する。

平成13年 9月 8日 能海寛研究会第40回定例学習会

「世界に於ける仏教徒」に学ぶ③

～「能海学」を構築する原点の学習シリーズ～

平成13年11月15日 能海寛研究会機関誌『石峰』第8号を発行。

平成13年11月18日 第7回能海寛研究会年次大会&第41回定例学習会

【記念講演】『能海寛と四川の100年後』飯塚勝重氏(東京都)

【会員研究発表】『能海寛の英語学習と発信の経過について』

岡崎秀紀副会長。

平成13年12月25日 「石峰通信」NO.16 を発行する。

平成14年 1月12日 能海寛研究会第42回定例学習会

「世界に於ける仏教徒」に学ぶ④

～「能海学」を構築する原点の学習シリーズ～

平成14年 2月25日 「石峰通信」NO.17 を発行する。

平成14年 3月 1日 「石峰通信」NO.17 を発行する。

平成14年 3月 9日 能海寛研究会第43回定例学習会

「世界に於ける仏教徒」に学ぶ⑤

～「能海学」を構築する原点の学習シリーズ～

平成14年 3月18日 能海寛資料一括(2,691点)金城町文化財に答申される。

平成14年 5月11日 能海寛研究会第44回定例学習会

「世界に於ける仏教徒」に学ぶ⑥

～「能海学」を構築する原点の学習シリーズ～

平成14年 5月18日 能海寛著『世界に於ける仏教徒』復刻版を発行する。

平成14年 6月30日 「石峰通信」NO.18 を発行する。

平成14年 7月14日 第8回能海寛研究会年次大会&第45回定例学習会

【定例学習会】「世界に於ける仏教徒」に学ぶ⑥

～「能海学」を構築する原点の学習シリーズ～

【記念講演】『私と能海寛研究』岡崎秀紀副会長

【会員研究発表】

『西藏求法僧 能海寛の西安から蘭州への旅②』横田禎昭会長

『ルポ 能海寛とモンゴル文字』万代剛氏(研究会会員)

平成14年 8月15日 「石峰通信」NO.19 を発行する。



新資料マスコミ公開



中国・銀川市で世界会議開催



まんが「能海寛」講座開催

- 平成14年 8月24日 「まんが西藏探検家『能海寛』」(波佐文化協会刊)を発行。
報道発表会 & 出版祝賀会(金城町波佐・エクス和紙の館)
- 平成14年 9月13日 能海寛研究会第46回定例学習会(研修旅行)
「国際チベット研究シンポジウム」へのオブザーバー参加
京都市・龍谷大学大宮学舎本館(清和館)10:00～18:20(会員12名参加)
- 平成14年11月 1日 「石峰通信」NO.20 を発行する。
- 平成14年11月 9日 能海寛研究会第47回定例学習会 & ジュニア版学習会①
「能海寛の幼年期・少年期・青年期(国内編)」
- 平成15年 1月12日 能海寛研究会第48回定例学習会 & ジュニア版学習会②
「能海寛の巡礼探検行(海外編)」
幹事会の開催
- 平成15年 2月25日 「石峰通信」NO.20 を発行する。
- 平成15年 3月 8日 能海寛研究会第49回定例学習会 & ジュニア版学習会③
「能海寛の業績評価と最新情報」
～映像プロジェクターにより最新の研究成果を発表～
幹事会の開催
- 平成15年 4月 1日 巡回展示・100年前の『能海寛・書簡エンタイヤ展』
(4月＝今福郵便局、5月＝雲城郵便局、6月＝波佐郵便局)
- 平成15年 5月 4日 能海寛ゆかりの地・100kmウルトラ遠足コースの下見調査協力。
- 平成15年 5月10日 能海寛研究会第50回定例学習会
「能海寛の書簡について」
幹事会の開催
- 平成15年 6月10日 「石峰通信」NO.21 を発行する。
- 平成15年 7月12日 幹事会(年次大会会場設営)、監査会。
- 平成15年 7月13日 能海寛研究会機関誌『石峰』第9号を発行。
- 平成15年 7月13日 第9回能海寛研究会年次大会 & 第51回定例学習会
【記念講演】『総合報告 能海寛研究』講師・岡崎秀紀副会長
【会員研究発表】
- ① 『日記に見る能海寛の中国語学習』万代剛氏
 - ② 『能海寛のチベット観』
～『世界に於ける仏教徒』を中心に～ 高本康子氏
 - ③ 『中国雲南省の中甸博物館における能海寛資料室の取組み』張彦萍氏
 - ④ 能海寛『書簡エンタイヤ展』(能海寛の書簡132点を展示)
- 平成15年 7月25日 「石峰通信」NO.22 を発行する。



能海寛エンタイヤ展



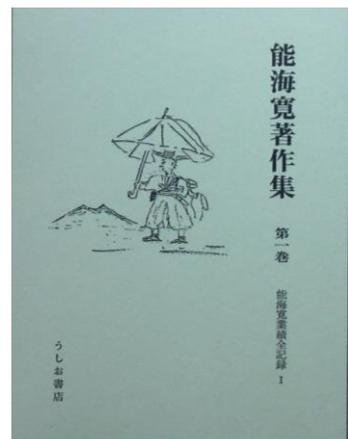
第10回年次大会の様様



- 平成15年 9月13日 能海寛研究会第52回定例学習会
「能海寛の書簡と日記」を読む
- 平成15年10月11日 『能海寛・ふるさと100Kmウルトラ遠足』試走会を支援。
金城町と広島県芸北町、戸河内町、加計町の能海寛ゆかりの地を巡る
100Km、(スタートは、ときわ会館、ゴールは、浄蓮寺の顕彰碑前)
- 平成15年11月 8日 能海寛研究会第53回定例学習会
「能海寛の書簡と日記」を読む
- 平成15年12月20日 「石峰通信」NO.23 を発行する。
- 平成16年 1月10日 能海寛研究会第54回定例学習会
「能海寛の書簡と日記」を読む。幹事会の開催。
- 平成16年 3月13日 能海寛研究会第55回定例学習会
「能海寛の書簡と日記」を読む
- 平成16年 5月 8日 能海寛研究会第56回定例学習会
「能海寛の書簡と日記」を読む
- 平成16年 7月10日 第10回能海寛研究会年次大会 & 第57回定例学習会
「能海寛の書簡と日記」を読む
【記念講演】『西域探検の世紀と能海寛』講師：金子民雄氏(歴史家)
【会員研究発表】
『能海寛の英文日記』発表者：岡崎秀紀副会長
『能海寛の横死報道と日本人のチベット観』発表者：高本康子氏
- 平成16年 7月30日 「石峰通信」NO.23 を発行する。
- 平成16年 8月28日 「石峰通信」NO.24 を発行する。
- 平成16年 9月11日 能海寛研究会第58回定例学習会
「能海寛書簡と日記」シリーズ⑥『渡清日記』を読む。
- 平成16年10月22日 第1回能海寛ふるさと100Kmトレイル遠足前夜祭
- 平成16年10月23日 第1回能海寛ふるさと100Kmトレイル遠足全国大会
- 平成16年11月13日 能海寛研究会第59回定例学習会
「能海寛書簡と日記」シリーズ⑥『渡清日記』を読む。
- 平成17年 1月 8日 能海寛研究会第60回定例学習会
「能海寛書簡と日記」シリーズ⑥『渡清日記』を読む。
楊暹氏(中国)より「中国文献について」発表。
- 平成17年 3月12日 能海寛研究会第61回定例学習会
「能海寛書簡と日記」シリーズ⑥『渡清日記』を読む。



100Kmトレイル遠足支援



- 平成 17 年 3月25日 『能海寛著作集』第一巻刊行。
- 平成17年 5月14日 能海寛研究会第62回定例学習会
「能海寛の書簡と日記」シリーズ、『東北紀行』を読む。
- 平成17年 6月15日 能海寛研究会機関誌『石峰』第 10 号を発行。
- 平成17年 7月10日 第11回能海寛研究会年次大会 & 第63回定例学習会
「能海寛の書簡と日記」シリーズ、『東北紀行』を読む。
【記念講演】『日記に見る求道者河口慧海』講師：高山龍三氏
【会員研究発表】
『入蔵者』イメージと能海寛』発表者：高本康子氏
「能海寛の資料を求めてパリ宣教会調査報告」発表者：岡崎秀紀副会長
『能海寛の雲南コースについて』＝清代の入蔵ルート資料との比較＝
発表者：何大勇氏
- 平成 17 年 7月11日 『能海寛著作集』第二巻刊行。
- 平成17年 8月25日 「石峰通信」NO.25 を発行する。
- 平成17年 9月 3日 「石峰通信」NO.26 を発行する。
- 平成17年 9月10日 能海寛研究会第64回定例学習会
「能海寛の書簡と日記」シリーズ、『得度二付道中入払帳』を読む。
- 平成17年11月12日 能海寛研究会第65回定例学習会
「能海寛の書簡と日記」シリーズ、『東北紀行』を読む。
- 平成 17 年11月30日 『能海寛著作集』第三巻刊行。
- 平成18年 1月14日 能海寛研究会第66回定例学習会
「能海寛の書簡と日記」シリーズ、『東北紀行』を読む。
- 平成18年 2月15日 能海寛研究会機関誌『石峰』第 11 号を発行。
- 平成 18 年 2月20日 「石峰通信」第27号発行。
- 平成 18 年 2月24日 「今枝由郎氏を囲む夕べ」懇談会開催。
- 平成18年 3月11日 能海寛研究会第67回定例学習会
「能海寛の書簡と日記」シリーズ、『口代』を読む。
- 平成18年 5月 6日 能海寛研究会第68回定例学習会
「能海寛の書簡と日記」シリーズ、『東北紀行』を読む。
- 平成 18 年 6月15日 「石峰通信」第28号発行。
- 平成18年 7月 9日 第 12 回能海寛研究会年次大会 & 第 69 回定例学習会
【年次総会】
【会員研究発表】
- ① 能海寛の第 1 回探検コース(理塘～巴塘)を訪ねて」永井剛氏（会員）
 - ② 外国語文献に見る能海寛」 岡崎秀紀氏（副会長）
 - ③ 能海寛の探検の源流を考察する」隅田正三（事務局長）



定例学習会の模様



第 1 2 回年次大会の模様



- 平成 18 年 8 月 19 日 能海寛のふるさと「歌碑めぐりウォーキング・ラリー」
浜田市金城町波佐・ときわ会館 8Km コース(8 箇所ガイド付き)
- 平成 18 年 8 月 25 日 「石峰通信」第 29 号発行。
- 平成 18 年 9 月 9 日 能海寛研究会第 70 回定例学習会
「能海寛の書簡と日記」シリーズ、『使用日記 M30』を読む。
- 平成 18 年 9 月 15 日 チベット巡礼探検家『求道の師 能海寛展』を開催する。
未公開資料を含む 336 点を公開展示する。
会場：浜田市浜田郷土資料館 会期：9 月 15 日～12 月 15 日
- 平成 18 年 11 月 11 日 能海寛研究会第 71 回定例学習会
「能海寛の書簡と日記」シリーズ、『使用日記 M30』を読む。
【研究発表】
「中国文献に見る能海寛像」高本康子氏
「チョーマド・ケレスと能海寛」岡崎秀紀氏
- 平成 19 年 1 月 13 日 能海寛研究会第 72 回定例学習会
「能海寛の書簡と日記」シリーズ、『使用日記』を読む。
- 平成 19 年 2 月 15 日 機関誌『石峰』第 12 号発行。
- 平成 19 年 2 月 20 日 「石峰通信」第 30 号発行。
- 平成 19 年 3 月 10 日 能海寛研究会第 73 回定例学習会
「能海寛の書簡と日記」シリーズ、『春秋日記』を読む。
- 平成 19 年 5 月 5 日 第 1 回「能海寛歌碑めぐりウォーク」の後援。
- 平成 19 年 5 月 12 日 第 74 回定例学習会「能海寛の書簡と日記」シリーズ
「春秋日記」(M22)を解説する。
- 平成 19 年 6 月 10 日 「石峰通信」NO. 31 発行。
- 平成 19 年 6 月 15 日 「石峰通信」NO. 32 発行。『能海寛著作集』第 4 巻発刊予定。
- 平成 19 年 7 月 8 日 第 13 回能海寛研究会年次大会兼第 75 回定例学習会
【年次総会】
【会員研究発表】
- ① 『教学論集』と能海寛」発表者：高本康子氏(研究会会員)
 - ② 「チョーマド・ケレスと能海寛」西藏探検熱の伝播～文献でたどる、ハンガリー一発、仏・英経由の流れ～
発表者：岡崎秀紀氏(研究会副会長)
 - ③ 入蔵熱の周辺」発表者：若林一弘氏(研究会会員)
- 平成 19 年 7 月 25 日 『能海寛著作集』第 5 巻発刊。「石峰通信」NO.33 発行。
- 平成 19 年 8 月 1 日 「石峰通信」NO. 34 発行。
- 平成 19 年 9 月 8 日 能海寛研究会「東京大会」兼第 76 回定例学習会。
会場＝日本プレスセンタービル



定例学習会の模様



東京大会の模様 (日本プレスセンタービル)



- 平成19年10月20日 「石峰通信」NO. 35発行。
- 平成19年10月25日 『能海寛著作集』第7巻発刊。
- 平成19年11月10日 第77回定例学習会 「能海寛の書簡と日記」シリーズ
「春秋日記」2回目(M23)解説。
- 平成20年 1月12日 第78回定例学習会 「能海寛の書簡と日記」シリーズ
「春秋日記」3回目(M23)を解説。
- 平成20年 3月 8日 第79回定例学習会 「能海寛の書簡と日記」シリーズ
「春秋日記」4回目(M24)を解説・研究。
- 平成20年 3月15日 機関誌『石峰』第13号発行。
- 平成20年 4月15日 能海寛生誕140年記念「チベット巡礼探検家『能海寛展』」開催。
- 平成20年 4月25日 『能海寛著作集』第10巻発刊。
- 平成20年 5月 5日 第2回「新緑探訪・能海寛歌碑めぐりウォーク」の後援。
- 平成20年 5月10日 第80回定例学習会 「能海寛の書簡と日記」シリーズ。
「春秋日記」(M25)を解説。
- 平成20年 6月20日 「石峰通信」NO.34発行。『能海寛著作集』第9巻発刊。
- 平成20年 7月13日 第14回 能海寛研究会年次大会兼第81回定例学習会開催。

【年次総会】

【会員研究発表】

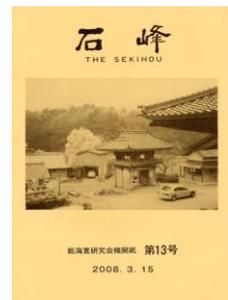
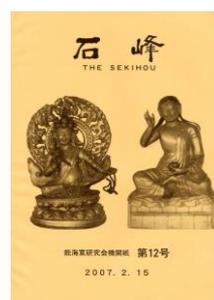
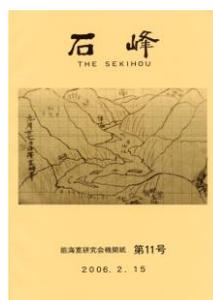
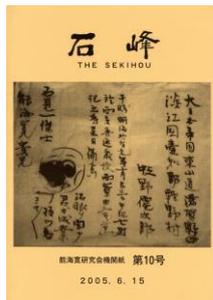
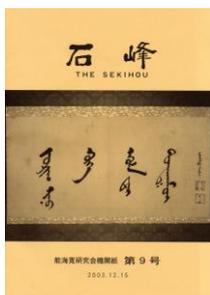
- ① 『Wesdom and Mercy』における能海寛
発表者 高本康子氏（研究会会員）
- ② 「能海寛評価の国際的な広がり ～ドイツ・中国・フランスの出版物に見る」
発表者 岡崎秀紀氏（研究会副会長）

【記念講演】

「20世紀初頭のチベットをめぐる国際情勢—能海寛研究に新視点を」

講師 広島大学大学院教育学研究科専任講師 白須淨眞氏

- 平成20年 7月15日 「石峰通信」NO. 40発行。
- 平成20年 7月23日 「能海寛歴史資料」357点が浜田市指定文化財となる。
- 平成20年 8月 5日 『能海寛著作集』第8巻(上)発刊。
- 平成20年 9月 7日 第82回定例学習会 「能海寛の書簡と日記」シリーズ
「春秋日記」5回目(M23年1月)。
- 平成20年 9月25日 『能海寛著作集』第8巻(下)発刊。
- 平成20年10月25日 「石峰通信」NO. 41発行。『能海寛著作集』第15巻発刊。
- 平成20年11月 1日 浜田市文化財指定記念『能海寛展』金城歴史民俗資料館で開催。
- 平成20年11月 8日 第83回定例学習会 「能海寛の書簡と日記」シリーズ
「春秋日記」6回目(M23年2月)慶応義塾時代を解説。



機関誌『石峰』の表紙

- 平成20年11月17日 『能海寛著作集』第11巻(上)発刊。
 平成20年12月 1日 機関誌『石峰』(Sekihou)、ISSN(国際標準逐次刊行物番号)
 「ISSN 1883-4183」を取得。
 平成20年12月16日 『能海寛著作集』第11巻(下)発刊。
 平成21年 1月10日 第84回定例学習会 「能海寛の書簡と日記」 シリーズ
 「春秋日記」3回目(M24年1月)を解説。
 平成21年 1月22日 『能海寛著作集』第9巻発刊。
 平成21年 2月23日 『能海寛著作集』第13巻発刊。
 平成21年 3月 7日 第85回定例学習会 「能海寛の書簡と日記」 シリーズ
 「春秋日記」4回目(M24年2月)を解説・研究。
 平成21年 3月15日 機関誌『石峰』 第14号発行。
 平成21年 3月26日 『能海寛著作集』第12巻発刊。
 平成21年 4月20日 「石峰通信」NO.42発行。
 平成21年 4月25日 「石峰通信」NO.43発行。
 平成21年 5月 3日 第4回「新緑探訪 能海寛歌碑めぐりウォーク」の後援。
 平成21年 5月 9日 第86回定例学習会 「能海寛の書簡と日記」 シリーズ。
 「春秋日記」(M24年2月) を解説。
 平成21年 5月26日 『能海寛著作集』 第6巻発刊。
 平成21年 7月 1日 『能海寛著作集』第14巻発刊。
 平成21年 7月12日 第15回 能海寛研究会年次大会兼第87回定例学習会開催。

【年次総会】

【会員研究発表】

① 「フィクションの中の能海寛」

(発表者)能海寛研究会会員 高本康子氏

② 「著作集第13巻の解説を執筆して」

～英語叙述に見る能海寛の考え方・生き方～

(発表者)能海寛研究会副会長 岡崎秀紀氏

【記念講演】

① 「梵語・チベット語学生としての能海寛」

(講師)高野山大学教授 奥山直司氏

② 「カトリック宣教師の道」～雲南からチベットへ～

(講師)横断山脈研究会会長 中村保氏

③ 「『能海寛著作集』に見える坪井正五郎の人類学講義録」

(講師)能海寛研究会会長 横田禎昭氏

- 平成21年 7月12日 「能海寛著作集出版記念祝賀会」&「中村保氏『王立地理学協会メダル』受賞祝賀会」 きんたの里(18:00～21:00)



『能海寛著作集』完結
 全15巻 17冊
 別巻 1冊

- 平成21年8月10日 「石峰通信」NO.44発行。
- 平成21年9月12日 第88回定例学習会「能海寛の書簡と日記シリーズ」
「春秋日記」(M24年9月)を解説。
- 平成21年11月14日 第89回定例学習会「能海寛の書簡と日記」シリーズ
「春秋日記」(M24年10月)を解説。
- 平成21年11月18日 『能海寛著作集』第15巻発刊。
- 平成22年1月9日 第90回定例学習会「能海寛の書簡と日記」シリーズ
「春秋日記」(M25年3月)を解説。
- 平成22年3月15日 機関誌『石峰』第15号発行。
- 平成22年3月8日 『能海寛著作集』別巻(総合索引)発刊。
- 平成22年3月13日 第91回定例学習会「能海寛の書簡と日記」シリーズ
「春秋日記」(M25年4月)を解説。
「横断山脈周辺の旅(映像による)」解説 永井剛氏
※映像は、中村保氏作成のパワーポイントを使用。
- 平成22年4月20日 「石峰通信」NO.45発行。
- 平成22年5月3日 第4回「新緑探訪 能海寛歌碑めぐりウォーク」の後援。
- 平成22年5月9日 第92回定例学習会「能海寛の書簡と日記」シリーズ。
「春秋日記」(M24年2月)を解説。
- 平成22年6月10日 「石峰通信」NO.46発行。
- 平成22年7月18日 第16回 能海寛研究会年次大会兼第93回定例学習会開催。

【年次総会】

【会員研究発表】

- ① 「能海寛周辺の人々 -『能海寛遺稿』を中心に-」
(発表者) 能海寛研究会会員 高本康子 氏
- ② 「明治の仏教熱心家、英国人、C.フォンデスと島根」
～能海寛、新仏教徒運動、世界宣教会との関わり～
(発表者) 能海寛研究会会長 岡崎秀紀 氏
- ③ 「東温謙と川上貞信」
(発表者) 研究会副会長 奥山直司 氏

【記念講演】

- 「明治における仏教研究の動向」
(講師) 元龍谷大学長 上山大峻 氏

- 平成22年8月18日 「石峰通信」NO.47発行。
「春秋日記」(M24年9月)を解説。



第14回年次大会



第16回年次大会 龍谷大学長「上山大峻氏」を招いて記念講演



第17回年次大会

第16回年次大会の様

- 平成22年 9月12日 第94回定例学習会「能海寛の書簡と日記シリーズ」
- 平成22年10月 8日 「石峰通信」NO.49発行。
- 平成22年11月13日 第95回定例学習会(研修旅行を兼ねる)
別府市北浜町・別府別院「大谷記念館」を会場に、見学会と記念講演。
記念講演:「大谷光瑞と現代」講師:掬月誓成氏(大谷記念館副館長)
- 平成22年11月20日 「石峰通信」NO.50発行。
- 平成23年 1月 9日 第96回定例学習会「能海寛の書簡と日記」シリーズ
「春秋日記」(M25年3月)を解説。
- 平成23年 3月15日 機関誌『石峰』第15号発行。
- 平成23年 3月13日 第97回定例学習会「能海寛の書簡と日記」シリーズ
「春秋日記」(M25年4月)を解説。
- 平成23年 4月 1日 「石峰通信」NO.51発行。
- 平成23年 5月 3日 「能海寛歌碑めぐりウォーク」の後援。
- 平成23年 5月14日 第98回定例学習会「能海寛の書簡と日記」シリーズ。
- 平成23年 6月15日 「石峰通信」NO.52発行。
- 平成23年 7月10日 第17回 能海寛研究会年次大会 & 第99回定例学習会の開催。
年次総会
会員研究発表
- ① 「肖平『近代中国仏教的復興 与日本仏教界的交往録』(2003)
楼宇烈・張志剛主編『中外宗教交流史』(1998)」
(発表者) 能海寛研究会会長 岡崎秀紀氏
- ② 「水野齊入宛て書簡に見る『能海寛遺稿』(大正6年刊)の出版経緯」
(発表者) 能海寛研究会会員 隅田正三氏
- ◎ 映像ライブラリー「映像に見る能海寛」
- ◎ 能海寛研究会の取組みについて(茶話会)
- 平成23年 7月15日 「石峰通信」NO.53発行。
- 平成23年 9月 1日 「石峰通信」NO.54号発行。
- 平成23年11月12日 定例学習会100回記念事業(会場:ときわ会館)
【記念セレモニー】「能海寛研究会17年の歩み」
【記念講演】「多田等観の見た近代日本とチベット」
講師:高本康子氏(群馬大学講師)
- 平成23年11月12日 「石峰通信」第55号発行。
- 平成24年 1月14日 第101回定例学習会『在日記』(明治32年)①
- 平成24年 3月10日 第102回定例学習会『在日記』(明治32年)②
- 平成24年 3月15日 機関誌『石峰』第17号発行。



別府市大谷記念館を会場に移動学習会を開催

- 平成24年 4月 1日 「石峰通信」NO.56発行。
- 平成24年 5月 3日 「能海寛歌碑めぐりウォーク」の後援。
- 平成24年 5月12日 第103回定例学習会「能海寛の書簡と日記シリーズ『第八号 飛越関碑記』(明治32年) ①」 & ビデオ「長江・三峡紀行」視聴
- 平成24年 6月15日 「石峰通信」NO.57発行。
- 平成24年 7月 8日 第18回「能海寛研究会年次大会&第104回定例学習会」
年次総会
会員研究発表
「河口慧海の西藏行と『明教新誌』社説について」
報告『能海寛を訪ねる旅その2 in Paris 2012.4-5』
(発表者)能海寛研究会長 岡崎秀紀氏
(11:50~12:50) 昼 食 & 映像ライブラリー「石峰のふるさと」
(13:00~14:00)
「戦時下の『能海寛』」
(発表者)北海道大学スラブ研究センター 高本 康子 氏
『能海寛の周辺—明治セイロン留学生たち』
(発表者)高野山大学教授 奥山直司氏
- 記念講演**
『青海におけるダライ・ラマ3世とアルタンの会見』
～モンゴル人がチベット仏教信仰を深めたきっかけの諸事情～
講師 井上 治氏(島根県立大学教授)
- 平成24年 7月 8日 「石峰通信」NO.58発行。
- 平成24年 7月10日 「石峰通信」NO.59発行。
- 平成24年 9月 8日 第105回定例学習会「能海寛の書簡と日記シリーズ『第八号 飛越関碑記②』」
- 平成24年 9月28日 「石峰通信」NO.60発行予定。
- 平成24年11月10日 第106回移動定例学習会『南方熊楠顕彰館』、『南方熊楠記念館』にて開催。
- 平成24年11月20日 「石峰通信」NO.61発行。
- 平成25年 1月12日 第107回定例学習会「能海寛の書簡と日記シリーズ『第参号』(明治32年) ①」
- 平成25年 3月 9日 第108回定例学習会「能海寛の書簡と日記シリーズ『第参号』(明治32年) ②」
- 平成25年 3月15日 機関誌『石峰』第18号発行。
- 平成25年 3月20日 「石峰通信」NO.62発行。
- 平成25年 5月 3日 第6回「新緑探訪・能海寛歌碑めぐりウォーク」を協賛
- 平成25年 5月11日 第109回定例学習会「能海寛の書簡と日記シリーズ『第参号』(明治32年)③」
- 平成25年 6月20日 「石峰通信」NO.63発行。



第100回定例学習会の模様



第19回年次大会の模様

平成25年 7月13日 第1回チベットセミナー開催(能海寛研究者、初心者入門講座)。

平成25年 7月14日 第19回「能海寛研究会年次大会&第110回定例学習会」

年次総会(10:00～11:00)

会員研究発表(11:00～12:00)

① 『明治のアイランド人仏教徒 C.フォンデスについて第Ⅱ報』

～滞日記録、幕末維新時の行動、受戒、墓～

(発表者)能海寛研究会長 岡崎秀紀氏

(11:50～12:50) 昼 食 & 映像ライブラリー「石峰会の歩み」

会員研究発表 (13:00～14:00)

② 『明治期の入蔵僧能海寛像の再検討』

～中国辺境地域における一次資料を通して～

(発表者)同志社大学大学院

グローバル・スタディーズ研究科 篠原由華氏

記念講演 (14:00～16:00)

『日本のインド研究』

講師 大前太氏(島根県立大学教授)

平成25年 7月14日 「石峰通信」NO.64発行。

平成25年 7月15日 「石峰通信」NO.65発行。

平成25年 9月14日 第111回定例学習会「能海寛の書簡と日記シリーズ『第八号 飛越関碑記④』

平成25年 9月15日 「石峰通信」NO.66発行。

平成25年11月 9日 第112回移動定例学習会(松江市・中村元記念館)

記念講演「中村元の業績と『東洋人の思惟方法』の意義—能海寛研究の可能性」

講師:上野敬子氏(中村元記念館理事)

平成25年11月10日 「石峰通信」NO. 67発行。

平成25年12月19日 「長寿の里・福祉文化村」構想に基づく「能海寛記念地域研究センター」の設置を企画提言、金城支所へ(岡崎、隅田、上山、植田4名で)。



「南方熊楠顕彰館」訪問



第1回チベットセミナー



第19回年次大会の様様



発表者の皆さん



「中村元記念館」訪問

- 平成26年 1月 1日 「石峰通信」NO. 68発行。
- 平成26年 1月11日 第113回定例学習会「能海寛の書簡と日記シリーズ『西藏国地誌』(明治32年) ①」
- 平成26年 3月 8日 第114回定例学習会「能海寛の書簡と日記シリーズ『新疆、蒙古及青海見聞概略』(明治32年)」
- 平成26年 3月15日 機関誌『石峰』第19号発行。
- 平成26年 3月20日 地域まるごと博物館協議会設立。
- 平成26年 4月 1日 「石峰通信」NO. 69発行。
- 平成26年 5月 3日 「能海寛歌碑めぐりウォーク」の後援。
- 平成26年 5月10日 第109回定例学習会 「能海寛の書簡と日記シリーズ『西藏国地誌』(明治32年)②
- 平成26年 6月10日 「石峰通信」NO.70発行。
- 平成26年 7月12日 第2回チベットセミナー開催(能海寛研究者、初心者入門講座)。
「中村元博士とチベット仏教求法僧・能海寛」(講師)岡崎会長
「研究会20年の歩み」パワーポイント映像視聴
「理塘雑記」(講師) 万代剛氏／デスクッション
- 平成26年 7月13日 第20回「能海寛研究会年次大会 & 第116回定例学習会」
年次総会(10:00～10:50)
会員研究発表(11:00～11:50)
- ① 「能海寛と仏蹟復興運動のスリランカ人 A. ダルマパーラ」
(発表者)能海寛研究会会長 岡崎秀紀氏
- ② 「カイラス巡礼」
(発表者)能海寛研究会員 岡本司郎氏
- 特別講演** (13:00～14:00)
「浜田の課題と新たな『観光』づくり」
(講師)浜田市長 久保田章市氏
- 記念講演** (14:10～16:00)
「井上円了と能海寛」～2人の近代仏教者～
(講師)東洋大学教授 三浦節夫氏
- 平成26年 7月15日 「石峰通信」NO. 71発行。
- 平成26年 7月23日 地域研究センター協議会の設立。
- 平成26年 9月13日 第117回定例学習会「石見湯高嶋記」を読む。
- 平成26年11月 8日 第118回定例学習会(蕎麦例会)「東京東北近県紀行」を読む。
- 平成26年12月10日 「石峰通信」NO. 72発行。
- 平成27年 1月 1日 「石峰通信」NO. 73発行。



第20回年次大会の様



久保田浜田市長



三浦節夫氏、岡崎会長、岡本司郎氏

平成27年 1月10日 第119回定例(移動)学習会。東洋大学キャンパスにて開催。

- 開会セレモニーは、岡崎会長の20周年を迎えお礼の挨拶
- 「能海寛研究会20年の歩み」をパワーポイント
- 定例学習会は、会員発表(リレートーク)
 - 「最近の研究から」 岡崎秀紀会長
 - 「最近のチベット情勢から」 中村 保氏
 - 「能海寛と新仏教徒論—渡清日記に見る—」 飯塚勝重氏
 - 「四番目の入蔵者—矢島保治郎」 盛田武士氏
 - 「能海寛との関わり」 江本嘉伸氏
 - 「井上円了と能海寛の子弟関係」 三浦節夫氏
- 20周年記念懇親会: 寿司割烹「魚邦」14名参加

平成27年 1月11日 巡見(見学会)能海寛縁の地を訪ねる(哲学館発祥の地など)参加者7名。

平成27年 1月15日 「石峰通信」NO. 74発行。

平成27年 2月 4日 島根県「いきいき活動奨励賞」を受賞

平成27年 2月15日 「石峰通信」NO. 75発行。

平成27年 3月 7日 第120回定例学習会「能海寛の書簡と日記シリーズ

平成27年 3月15日 機関誌『石峰』第20号発行。「石峰通信」NO. 76発行。

平成27年 5月16日 「能海寛歌碑めぐりウォーク」の後援。

平成27年 5月 9日 第121回定例学習会 「能海寛の書簡と日記シリーズ『西藏国地誌』(明治32年)②

平成27年 6月16日 「石峰通信」NO.77発行。

平成27年 7月11日 第2回チベットセミナー開催(能海寛研究者、初心者入門講座)。

平成27年 7月12日 第21回「能海寛研究会年次大会&第122回定例学習会」
年次総会(1100~11:50)
会員研究発表(13:00~14:50)

- ① 「明治26年の仏教夏期講習会と能海寛の西藏行き」
(発表者)能海寛研究会会長 岡崎 秀紀 氏
- ② 「単語分布の構造と林木分布の構造から見えるもの」
(発表者)能海寛研究会員 植田 義法 氏
- ③ 「寺本婉雅関連新出資料と能海寛」
(講師)能海寛研究会員 高本 康子 氏

ゲストスピーチと映画上映 (15:00~16:00)

「東チベットの現在」ミニ講演と映画「天空の大巡礼を行く」上映
(講師)映画監督 大谷 寿一 氏

平成27年 7月15日 「石峰通信」NO.78発行。



20周年懇親会(魚邦)



「いきいき活動奨励賞」受賞



第21回年次大会の様様

「能海寛著作集」全15巻・別巻

A5判・上製本・貼箱・総9,200頁（各巻平均500頁）

全15巻、別巻1（18冊）セット価格266,370円

能海寛研究会編 発行所：USS出版

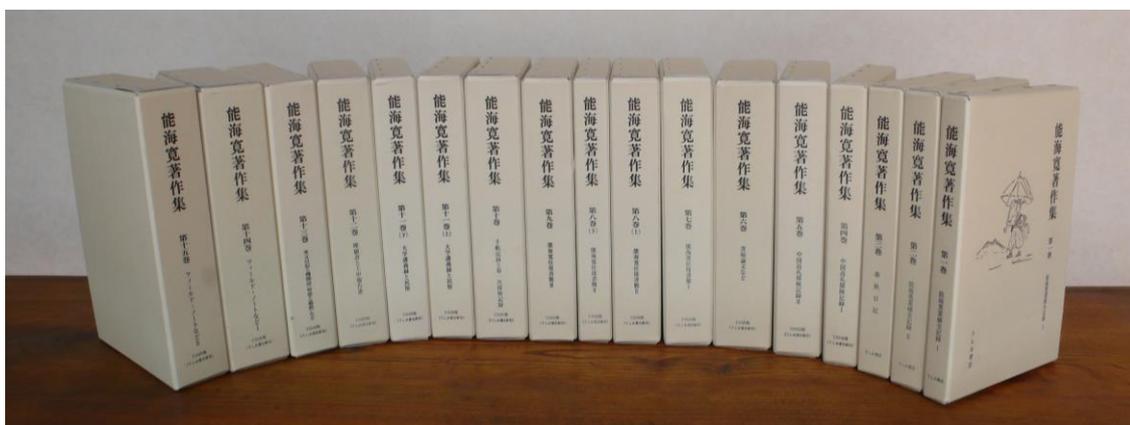
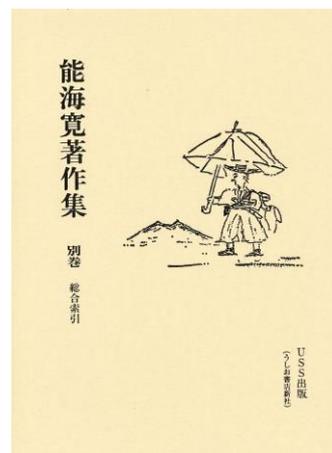
5年の歳月を投入して、能海寛研究会の総意の下に完結した『能海寛著作集』は、チベット巡礼探検家能海寛の生資料を直接印影化した研究者待望の著作集である。印刷業界では、いわば先駆的な取り組みであったと言えよう。

この著作集は、仏教関係者のみならず、中国大陸11省府12,000Kmを2年半、聖地を巡礼探検した紀行記録で、地理学、民俗学、歴史学、中央アジア研究、中国シルクロード・西南シルクロード研究、W. ウェストン研究、E. アーノルド研究、明治期の慶応義塾・哲学館（東洋大学）の欠落している内容を補完する一級の資料群である。

この著作集を活用して、多くの博士号を取得され、多くの論文が生れることを期待したい。このことが、今回の著作集発刊に至った意義である。

【全巻収録内容】第1巻「能海寛業績全記録Ⅰ」解説：金子民雄、第2巻「能海寛業績全記録Ⅱ」解説：金子民雄、第3巻「春秋日記」解説：金子民雄、第4巻「中国巡礼探検記録Ⅰ」解説：金子民雄、第5巻「中国巡礼探検記録Ⅱ」解説：金子民雄、第6巻「寄稿論文など」解説：奥山直司、第7巻「能海寛往復書簡Ⅰ」解説：隅田正三、第8巻上「能海寛往復書簡Ⅱ」解説：隅田正三、第8巻下「能海寛往復書簡Ⅲ」解説：隅田正三、第9巻「能海寛往復書簡Ⅳ」解説：金子民雄、第10巻「手帳記録と第一次探検記録」解説：金子民雄、第11巻上「大学講義録と民俗」解説：横田禎昭、第11巻下「大学講義録と民俗」解説：横田禎昭、第12巻「嘆願書と上申報告書」解説：金子民雄、第13巻「英文日記と機関誌」解説：岡崎秀紀、第14巻「フィールド・ノートなどⅠ」解説：隅田正三、第15巻「フィールド・ノートなどⅡ」解説：隅田正三。

別巻1「総合索引」編著：隅田正三。



『能海寛著作集』全15巻（17冊）、別巻1冊 2010年3月完結

あとがき

- ◇ 能海寛は、僅か33年の生涯であったが彼の残した遺産は計り知れないものがある。能海寛の業績を「知・徳・体」で表せば、知=智恵、知識、知能。徳=徳育、徳義、徳業。体=体現、体得、体操。これらの言葉で彼の生涯が言い表せるのである。
- ◇ 能海寛の顕彰活動は、先人から受け継ぎ、能海寛研究会が発足して、今年で21年目を迎える。明治28年に「波佐倶楽部」を興し、高島で「へき地教育」を先駆けて120年となった。過去の歴史を紐解き、今後の能海寛研究の方向性を見極める為に『能海寛の顕彰活動全記録』として発刊する運びとなった。
- ◇ 能海寛関係の著書は、『世界に於ける佛教徒』、『能海寛遺稿』、『能海寛著作集』、『求道の師・能海寛』、『求法伝・風の馬』、『西藏漂泊』、『チベット』、『能海寛・チベットへ消えた旅人』、『まんが・西藏探検家能海寛』、『暁の密使』、『チベットからの遺言』、『中国辺境遊記』などがある。
- ◇ 能海寛のテレビ放映は、昭和55年NHK松江放送局制作『島根人物伝・能海寛』（15分番組）、昭和58年NHK松江放送局制作『知られざる先駆者=チベット探検家・能海寛』（30分番組）、昭和61年フジテレビ系全国放送『中国大秘境』（2時間番組・日中国交回復15周年記念で能海寛が旅した雲南・四川・貴陽の三省をドキュメンタリー番組）、平成9年BSSテレビ『学僧・能海寛』（4日間リレー放映、5分番組）、平成10年NHK教育テレビ、こころの時代『求法の旅=能海寛の生涯』（1時間番組）などがある。
- ◇ 花巻市の『宮沢賢治記念館』、紀伊田辺市の『南方熊楠顕彰館』、白浜市の『南方熊楠記念館』、松江市の『中村元記念館』などは、行政と民間が一体化して顕彰し観光に生かしている。一方、能海寛の顕彰運動は、官民一体で推進する体制が出来ていない。全国組織で推進して行くうえで、誠に恥ずかしい次第である。
- ◇ 能海寛のふるさと「地域まるごと博物館」を展開する組織、「地域研究センター協議会」が、平成26年7月に文化団体（能海寛研究会・波佐文化協会・西中国山地民具を守る会）で立ち上がった。インターネットHP『波佐ネット』上で、能海寛研究会アーカイブ、能海寛PR用パンフ（中国語版）。「波佐ネット通信」で、フィールドミュージアム活動の情報発信を行っています。

チベット巡礼探検家

『能海寛の顕彰活動全記録』

発行日 平成 27年 7 月 15日

発行者 能海寛研究会

〒697-0211

島根県浜田市金城町波佐イ 394

TEL/FAX(0855)44-0010

E-mail: sekihou@hazaway.com